

3/11

きょうくんに みらいをつた ちいきぼうさいりょく こうじょう 教訓を未来へと伝え、地域防災力の向上を

平成29年度東日本大震災筑紫野市追悼式・復興祈念式

東日本大震災の発生から7年となったこの日、市役所前広場において、追悼式・復興祈念式を挙行し、市議会、コミュニティ運営協議会、市消防団、市職員など約150人が参列し、黙とうを捧げました。

藤田市長はあいさつで、「震災の教訓を風化させることなく未来へと伝え続けていかなければなりません」と話し、また、コミュニティ運営協議会による防災活動が

本年度から本格的に始まっており、「自らの命は自分で守る、自らの地域は皆で守る」という自助・共助の地域防災力の向上が図られていることにお礼を伝えました。

また、東日本大震災の被災地に支援のために派遣された市職員から報告が行われ、参列者全員で被災地の一刻も早い復興を祈るとともに、災害に強い地域づくりへ思いを新たにしました。



サイレン吹鳴とともに黙とうを捧げました

被災地派遣職員による報告

3/15

ことし ぜんぱんはんだん 今年の全般判断は「中」

筑紫神社粥占祭

筑紫野市原田の筑紫神社で200年以上前から続くとされる、伝統の粥占祭が行われました。

この行事は、1カ月前に炊いた粥に生えたカビにより、今年の農作物の吉凶を占うもので、2月15日に炊いた粥を神社本殿の中に保管し、1カ月経ったこの日、取り出して、カビの色や量、長さなどから5人の委員が判断を行いました。

今年の判断は総合で「中」とされ、筑前、筑後、肥前、豊前の方位では筑前が最もよい、とされました。



行事と使われる粥鉢は市無形民俗文化財に指定されています

3/6

ぜんこく ほこ むぎ 全国に誇る麦づくり

三水うまいち全国麦作共励会表彰報告

他の模範となる麦作農家を選出し表彰する麦作共励会。昨年、福岡県知事賞を受賞した農事組合法人三水うまいち(市内西小田)が2月に行われた全国麦作共励会に九州ブロック代表として参加し、全国農業協同組合中央会会長賞を受賞したため、藤田市長に報告しました。

代表理事の榎木 明さんは「励みになります。(全国で最優秀の団体に贈られる)農林水産大臣賞を目指します」と話していました。



ちくしのクリップ

3/21

ちいき 地域のふれあい、ひろがる

筑紫南コミュニティ運営協議会「筑紫南ふれあい市」

筑紫南コミュニティセンターで「ふれあい市」が開催され、地元の農産物や雑貨の販売、フリーマーケットなどの出店がありました。天候不良により会場が屋内となりましたが、多くの人出でにぎやかに開催されました。

筑紫南コミュニティ運営協議会会長の古川 仁敬さんは、「地元で採れた農産物の販売などを通してつながり、ふれあいが生まれ、さらにそのふれあいが広がっています」と話していました。



生産者による採れたて新鮮野菜の販売

3/17

はる ようき さかな しんしゅ の くら 春の陽気を着に新酒を飲み比べ

大賀酒造 春の酒蔵開き

県内で一番古い酒蔵、大賀酒造株式会社（市内二日市中央）で春の酒蔵開きが開催され、穏やかな天候の下、多くの人々が酒蔵の見学や新酒の試飲などを楽しみました。

二日市中央通り商店街では農産物や手工芸品などを販売する毎月恒例の「ちくしの二日の市」（ほっと二日市主催）、商店街に露店が並び飲食を楽しめる新たなイベント「ほろ酔いストリート」（二日市まちづくり協議会主催）が同時開催され、二日市のまちがにぎわいました。



3/22

さいがいじ 災害時さながらのスピードで けつだん 決断する

二日市コミュニティ避難所運営訓練

二日市コミュニティセンターで、震度6弱の地震が発生し同センターが避難所となった場合を想定した訓練が行われました。HUG(避難所運営ゲーム)を用いたこの訓練では、本部や居住スペースの配置、高齢者などへの配慮、ペットがいる場合など、さまざまな事態を記したカードが次々と読み上げられ、参加者は各班で協議し、対応について迅速に決断をしました。

参加者からは「災害時は情報の集約や共有を円滑に行う必要があると感じた」などの感想がありました。



センターの配置図の上にカードやふせんを置いていきます

3/17

れきし 歴史ある かいどう ある 街道を歩き、 たびびと おも 旅人に思いをはせる

長崎街道筑前三宿の町並み散歩

江戸時代、今の北九州市と長崎市を結ぶ長崎街道にあった筑前六宿と呼ばれる宿場町。そのうち、山家宿（市内山家）、原田宿（市内原田）、内野宿（飯塚市）などを巡り散策するイベントが山口コミュニティ運営協議会主催で行われました。

かつての筑前国、筑後国、肥前国の国境を示す三国境石など、普段は見ることがない場所も訪れ、参加者の皆さんは、感慨深げに解説を聞いていました。



現在の筑紫野市、小郡市、基山町の境にある三国境石